

荏原製作所「知財 ROIC」：知的財産を企業価値に繋げる独自の可視化指標



分子の「成果」は、知財ポートフォリオ、リスク管理、分析提言などを事業収益と関連付けて数値化。

投資（分母）は、特許出願・年会等の直接費用に加え、人件費・工数、システム費用を算入。

複数年度の「移動平均」による評価：先行投資である知財の性質を考慮し、長期的な成果を測定。

知財戦略アクション

2024年の特筆すべきアクション：
特許の「断捨離」を従来の3倍に増加し、投資効率を向上。



荏原製作所における知財戦略の歩み



1912年：
創業時からの知財マインド
を目指す大学発ベンチャーとして知財を重視

2011年～2015年：
「数も力なり」から「質」への転換
出願数的4低回機機、質の向上へ移行

2022年～現在：
知財 ROIC の導入と深化
E-Plan2025 ROIC経営の一環として知財活動の見える化を推進

知財 ROIC ツリー：価値創造の8つのドライバー

系統1：利益（率）増加（事業利益の増加）



系統2：投下資本の回転率向上



知財 ROIC

2023年は自己評価値の罫を審査

↑ 改善・進属した項目

- ・知財インフラ整備（回転率向上）
- ・為替影響を防いだ実質的な改善傾向

↓ 低下・課題となった項目

- ・戦略・ブランド力（事業利益への貢献）
- ・人材・知財費用の断捨離

外部評価と留意点



知財・無形資産ガバナンス表彰（2025年）優秀賞
アシックスに次ぐ優秀賞を NECと共に受賞。独自の指標導入が評価。



指標の開示方針：
絶対値ではなく「相対値」
現在は精度向上フェーズ。
2021年を基準とした括弧のみ公表。



溜同注意：
他社の数値との違い
一部報道の「5.2%→10.5%」
目標値はプリテストのものであり、荏原製作所の数値ではない点に注意。